

# 第8回日本モンゴル官民合同協議会

## はじめに

2017年7月4日（火）、モンゴルの首都ウランバートルにおいて、「第8回日本モンゴル官民合同協議会（以下、合同協議会）」が開催された。

今回の合同協議会開催にあたって、松村祥史・経済産業省副大臣、小林洋一日本モンゴル経済委員会会長／伊藤忠商事㈱副会長（以下、会長）、吉村利治日本モンゴル経済委員会副会長／双日株式会社専務執行役員（以下、副会長）をはじめとする同経済委員会会員企業代表、および日本の政府関係者、企業代表者がモンゴルを訪問した。モンゴル側からは、バトツェツェグ・モンゴル外務省副大臣を代表として、政府関係者、団体、企業関係者が参加した。合同協議会は午前中に実施され、午後は「経済連携協定EPA発効1周年記念セミナー・ネットワーク交流会」が行われた。また、翌日の5日（水）は、モンゴルの優良企業訪問として、日本人参加者向けに3企業の訪問がアレンジされた。これら3つのイベントについて、簡単に概要を説明する。

## 第8回日本モンゴル官民合同協議会

合同協議会は、バトツェツェグ・モンゴル外務省副大臣、松村祥史・経済産業省副大臣、高岡正人・駐モンゴル日本国特命全権大使、オウンチメグ・モンゴル商工会議所会頭、小林会長の挨拶による開会式で始まった。今回の合同協議会は、今年が日本とモンゴルの国交樹立45周年の記念すべき年であること、また、両国のEPA（経済連携協定）発効から1周年（発効は2016年6月）という記念すべき年であることが、各挨拶のなかで強調された。午後開催

されたセミナーがEPA発効1周年記念と銘打っているのもそのためである。

モンゴル側からプロジェクトおよびビジネス環境について4つの報告があった後、日本側からは、今後大きな期待が寄せられる農畜産品の課題について、JICAの調査報告が紹介された。さらに、吉村副会長から「モンゴルビジネスにおける課題と展望」の報告がなされた。吉村副会長は、EPAが発効したものの貿易投資額が伸びない理由として、また貿易投資環境整備に必要なものとして、①為替予約や外貨建て取引の導入、②通関業務の拡充とトランジット輸送の実現、③源泉税の引き下げと二国間租税条約の早期締結の3点を指摘した。また、日本企業のさらなる誘致に必要なポイントとして①One Stop Shopの設立、②貿易投資関連情報の拡充と発信強化、③容易にアクセスできるデータベースの設立の3点を指摘した。



第8回日本モンゴル官民合同協議会の様子  
（於：モンゴル外務省）

## 第8回日本モンゴル官民合同協議会 プログラム

日付	時間	プログラム
2017年 7月4日	9:00-9:30	<b>【開会式】</b> ◆バトツェツェグ・モンゴル外務省副大臣 ◆松村祥史・経済産業省副大臣 ◆高岡正人・駐モンゴル日本国特命全権大使 ◆オユンチメグ・モンゴル商工会議所会頭 ◆小林洋一・日本モンゴル経済委員会会長／伊藤忠商事(株)副会長  (フォトセッション)
	9:30-9:45	<b>【モンゴル側報告】</b> ◆「モンゴル国農牧業、軽工業分野の開発プロジェクト、モンゴル日本協力関係」 (バトフー・モンゴル食糧・農牧・軽工業省政策実施調整局長)
	9:45-10:00	◆「モンゴル国における投資環境」 バヤルサイハン・モンゴル国家開発庁長官
	10:00-10:15	◆「モンゴル国の鉱業・重工業分野の現状」 ムンフバヤル・モンゴル鉱業重工業省重工業政策局機械技術部長
	10:15-10:30	◆「モンゴル国交通インフラの進捗状況」 メルゲン・モンゴル道路・交通開発省政策計画局長 (質疑応答)
		コーヒーブレイク
	11:20-11:40	<b>【日本側報告】</b> ◆「モンゴル国農畜産品のバリューチェーン及び日本市場における課題と可能性」 (佐藤睦・JICA モンゴル事務所所長および上原有恒・JICA 調査団総括 (NTC インターナショナル株式会社))
	11:40-12:00	◆「モンゴルビジネスにおける課題と展望」 (吉村利治・日本モンゴル経済委員会副会長／双日株式会社専務執行役員)
	12:00-12:25	(質疑応答)
	12:25-12:35	<b>【閉会挨拶】</b> ◆エンフボルド・外務省対外貿易経済協力局長 ◆田村暁彦・経済産業省通商政策通商交渉官

## 経済連携協定EPA発効1周年記念セミナー・ネットワーキング交流会

午後は、モンゴル商工会議所において経済連携協定EPA発効1周年記念セミナー・ネットワーキング交流会が行われ、セミナーと同時並行で、モンゴル製品の展示会が行われた。食品飲料が14社、カシミア製品が13社、羊毛製品が6社、木工品が1社、縫製品が5社、化粧品が6社の計45社が出展した。

主催者および来賓として、スミヤバザル・モンゴル日本友好議員連盟会長／モンゴル商工会議所モンゴル日本ビジネス協議会会長、米谷光司・日本貿易振興機構（JETRO）理事、バトフー・モンゴル食糧・農牧・軽工業省政策実施調整局長、松村祥史・経済産業省副大臣の挨拶の後、これらVIP諸氏が展示品を視察した。なお、スミヤバザル氏は日本の大相撲の元横綱・朝青龍の兄であり、日本でのレスラー経験もある。

セミナーでは、日本およびモンゴルの関係組織のビジネス支援のための有用情報が主に紹介され、最後にビジネス事例としてカシミア製品のゴビ社、はちみつのMihachi社の事例が紹介された。



展示会

## モンゴル優良企業訪問

7月5日（水）、モンゴルの優良企業3社を日本側参加者が訪問した。訪問先企業は以下の3社である。

- ・カシミア製品製造のゴビ社（[www.gobi.mn](http://www.gobi.mn)）
- ・飲料製造のヴィタフィット（VitaFit）社
- ・医薬品製造のモノス社（[www.monos.mn](http://www.monos.mn)）

ゴビ社以外は、輸出実績はないもの、国際規格にそった生産体制をとるなど、工場内は清潔で輸出に向けた準備を行っている。

とくにゴビ社は、日本にも輸出しているモンゴル随一の有名企業である。昨年、羽田空港に臨時に出店して好評であったので、2017年9月にも期間限定で直営店舗を出店することが決まっている。



EPA発効1周年記念セミナー・ネットワーキング交流会（小林会長とスミヤバザル氏）



企業訪問（モノス社）

## 経済連携協定EPA発効1周年記念セミナー・ネットワーキング交流会 プログラム

日付	時間	プログラム
2017年 7月4日	14:30-15:10	<b>【開会式】</b> ◆スミヤバザル・モンゴル日本友好議員連盟会長／ モンゴル商工会議所モンゴル日本ビジネス協議会会長 ◆米谷光司・日本貿易振興機構(ジェトロ)理事 ◆バトフー・モンゴル食糧農牧軽工業省政策実施調整局長 ◆松村祥史・経済産業省副大臣  VIP 巡覧(展示会での企業の商品視察)
	15:10-15:30	◆「日本モンゴルの貿易動向とジェトロの支援について」 加藤康二・ジェトロ海外調査部主査
	15:30-15:50	◆「モンゴル輸出製品の日本オンライン市場への進出可能性について」 ゲレル・LandEx 社代表
	15:50-16:10	◆「モンゴル日本人材開発センター」 大川直人・モンゴル日本人材開発センター顧問
	16:10-16:20	◆「モンゴル商工会議所モンゴル日本ビジネス協議会」 チンゾリグ・モンゴル商工会議所モンゴル日本ビジネス協議会事務局長
16:20-16:40	◆「グッド・プラクティス事例1:羊毛、カシミヤ」 ブルテ・ゴビ株式会社海外販売部マネージャー	
16:40-17:20	◆「グッド・プラクティス事例2:食品」 衣袋智・Mihachi LLC 社長	
17:20-17:30	<b>【閉会挨拶】</b> ◆オユンチメグ・モンゴル商工会議所会頭	

## おわりに

合同協議会を通じて見えてきた今後の日本とモンゴルの経済関係の課題は、吉村副会長が指摘していることとも共通しているが、日本側の極端な出超の現状をいかに改善するかということである。経済連携協定が発効し、モンゴル製品の無関税での対日輸出の可能性が大きくなった今、モンゴル製品の質、量、価格、検査体制、原産地証明等、実務上様々な課題が、今回の合同協議会、セミナーでも明らかになった。しかし、セミナー最後の事例の会社のように中小企業でもそれを乗り越えるモンゴル企業も現れており、また、日本の受入体制にも改善の余地が指摘されているので、これらの課題が解決され、双方が努力することにより今後のモンゴル製品の対日輸出増に期待したい。

モンゴルは昨年来、債務不履行の豊経済不振に悩んできた。しかし、IMF機関、外国の支援がまとまるとともに産、輸出の好調さなどもあって、経済は払拭されつつあり、今回の合

中でもそのような指摘があった。最後に、合同協議会後の7月8日(土)にモンゴルの大統領選挙の決戦投票があったので、選挙結果と新大統領を紹介する。野党の民主党系のバートルガ氏が50.6%、与党人民党系のエンフボルド氏41.2%で、バートルガ氏が勝利し、7月10日に新大統領に就任した。首相が人民党であり、大統領とねじれ状態となるが、大統領はモンゴルにおいては象徴的役割が大き

く、議会は圧倒的多数が与党で占められているので、大統領に法律の拒否権はあるものの、当面、大きな政治的混乱はないものとみられる。

新大統領のバートルガ氏は、大統領府の経歴紹介によると、1963年生まれで、国会議員、大臣等の要職をつとめてきたが、美術学校出身

の格闘家(柔道、サンボ)として国際大会で大きな実績をあげるとともに、広範な分野で実業家として成功し、多彩な才能を見せている。また、元横綱・朝青龍が同氏を支援し、勝利に大きく貢献したとのマスコミ報道があるので、朝青龍(ダクワドルジ氏)の去就にも注目したい。

(構成: 高橋 浩)

